

福津市まちづくり基本構想

将来像：人も自然も未来につながるまち、福津。

1. 共育：誰もが「未来の創り手」として育つまち

1. 子どもの権利を守り、多様な子どもの居場所や主体的な参加の機会を促進する
2. 子育て中の親を支援する環境を充実させる
3. 豊かな体験を育み、社会に開かれた教育を推進する

2. 地域自治：人がつながり活躍する共助と共働のまち

1. 郷づくりによる地域自治の推進を支援する
2. 郷づくりの担い手育成と幅広い市民参加を促進する
3. さまざまな個人や団体間の共働を推進する

3. 健康：健康で生き生きと暮らせるまち

1. 日常の中での健康づくりの取り組みを推進する
2. 生涯学習や活躍の機会を通じた生きがいを増進する
3. すべての人の自己決定や意思尊重を大切にすくみを育てる

4. 安全安心：安全・安心・快適に住み続けられるまち

1. 災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化する
2. 暮らしやすさを実感できる生活基盤を整備する
3. 社会資本の有効活用と改善の推進体制を整備する

5. 環境保全：自然・歴史・景観などの資源が守られ生かされるまち

1. 受け継がれてきた自然を守り、育てる
2. 福津の環境を受け継ぐ子孫のために、地球温暖化を緩和する
3. 快適な生活環境をつくる
4. 環境を守るための地域共働のしくみをつくる

6. 地域産業：地域の産業が経済を支えるまち

1. 農水産業分野の収益性を向上させ、担い手を育てる
2. 多様な産業が連携し、地産地消を促進する
3. 起業・継業促進と事業所誘致で、働く場を増やす

7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く
2. 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する
3. ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する

8. まちづくり計画推進にあたっての基本的な考え方

内容非公開

観光協会補助事業										
単位：円										
大事業	観光協会補助事業費				担当	経済産業部観光振興課観光振興係				
一般会計			(款) 7 商工費		(項) 1 商工費			(目) 3 観光費		
基本 構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち								
	基本方針	1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く								
	分野別計画等	第2次福津市観光基本計画								
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源			
5,831,000	5,831,000	315,000					5,516,000			
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
観光関連産業への経済効果を狙い、観光客の増加を図ります。来訪者に観光メニューを提供する担い手である観光事業者に対する情報の提供、観光事業者の支援や広報活動を行うとともに、アフターコロナを見据え、様々な角度から観光客を受け入れるための体制づくりを行う（一社）ふくつ観光協会に対する補助を実施します。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	イベント数			指標②				指標③		
目標値	10回			目標値				目標値		
実績	27回			実績				実績		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
新しい価値観での観光事業を展開していくことが必要になっており、集客力の向上に合わせて滞在時間を延ばして、市内での消費を拡大させるような仕組みを作っていくことが必要です。また協会として、事業企画・実施のための資金を生んでいくことが求められています。					観光協会と観光地域づくり法人（DMO）とで役割分担の明確化や連携体制を構築させて、本市の観光振興の両輪を担う組織となることが期待されています。					
【事後】課題					【事後】成果					
新しい価値観での観光事業を展開していくことが必要になっており、集客力の向上に合わせて滞在時間を延ばして、市内での消費を拡大させるような仕組みを作っていくことが必要です。また協会として、事業企画・実施のための資金を生んでいくことが求められています。					観光協会と観光地域づくり法人（DMO）とで役割分担の明確化に向けた連携体制の構築や、本市の観光振興の両輪を担う組織として事業の実施、活動の展開を行いました。また、自主財源確保に向けた取り組みについてはオリジナル商品等の販売や営業活動に励んでいます。					
課題に対する改善・改革案										
本市の観光振興に向けて、観光協会と観光地域づくり法人（DMO）の連携体制強化は継続して取り組む必要があり、互いに相乗効果を生み出すことができるよう、密に協議や連絡調整を実施していきます。										
事業費の内訳										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
負担金・補助及び交付金	観光協会補助金			5,831,000						

世界遺産保存活用事業									
大事業 地方創生事業費					担当 経済産業部観光振興課観光振興係				
一般会計 (款) 2 総務費			(項) 1 総務管理費			(目) 13 地方創生費			
基本 構想	テーマ別目標像	7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち							
	基本方針	1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く							
	分野別計画等	第2次福津市観光基本計画							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源		
1,693,000	1,497,206	508,200					989,006		195,794
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）									
新原・奴山古墳群への公共交通対策、展望所におけるガイド、及び古墳群を活用したイベントを開催します。新原・奴山古墳群をPRして、来訪者へのサービスを実施することで市内の史跡・観光地等への周遊を図ります。									
事業の達成度を測る指標									
指標①	来訪者数		指標②				指標③		
目標値	10,000人		目標値				目標値		
実績	10,000人		実績				実績		
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）				
古墳まつりは地域に根ざしたイベントとして定着してきました。本イベントを更なる拡充・発展を目指すためには、民間活力を利用していく必要があります。また、タクシークーポンについては、PRを更に積極的に実施して市内の周遊促進に努めます。					イベント実施に係る事業費をふくつ観光協会に対して補助することにより、民間事業者や関係団体の活力やノウハウを最大限に有効活用して、更に充実したイベントとなることが期待されます。				
【事後】課題					【事後】成果				
古墳まつりを地域に根ざしたイベントとして定着してきました。本イベントの更なる拡充・発展を目指すためには、民間活力を利用していく必要があります。また、タクシークーポンについては、PRを更に積極的に実施して市内の周遊促進に努めます。					観光協会が主体となって、関係団体や民間事業者等の活力とノウハウを最大限に活用し、充実したイベントとして開催することで、市内外へのPRと新原・奴山古墳群への来訪者誘致とシビックプライドの醸成に繋がることができました。また、タクシークーポンは、市外から新原・奴山古墳群や歴史資料館へ誘客だけではなく、市内の周遊促進に繋がっています。				
課題に対する改善・改革案									
古墳まつりが、本市の世界遺産に関するPRや誘客だけではなく、それを機会として本市への観光市内周遊促進や再訪に繋がるように、更に充実した企画と関係団体等との連携を目指していきます。タクシークーポンについては利用促進を図るために積極的に周知していきます。									
事業費の内訳									
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額
需用費	消耗品費			70,000					
需用費	事務用品費			8,822					
委託料	展望所観光案内業務委託料			1,016,400					
委託料	観光交通システム充実化事業委託料			401,984					

観光地域づくり法人（DMO）事業										
大事業 観光事業費					担当 経済産業部観光振興課観光振興係					
一般会計			(款) 7 商工費			(項) 1 商工費			(目) 3 観光費	
基本 構想	テーマ別目標像		7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち							
	基本方針		1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く							
	分野別計画等		第2次福津市観光基本計画							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源			
16,568,000	16,568,000	8,284,000					8,284,000			
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
観光地域づくり法人（DMO）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と共働しながら、観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。設立当初の観光地域づくり法人（DMO）の次の基礎的役割を支えるため、観光施策に関わる業務を委託します。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	食フェア参加事業者数		指標②	旅行商品数			指標③			
目標値	110事業者		目標値	30本			目標値			
実績	93事業者		実績	20本			実績			
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
ふくつ観光協会や関係諸団体との連携や収益事業等による安定した運営資金の確保が必要であり、開拓していかなければなりません。さらには、観光地域づくり法人として、DMOの理念や意義を市民へ周知を図っていくことも必要です。					様々な産業の関係者をつながることによる観光地域づくりの相乗効果が期待され、観光振興に係る各種活動、事業の多様化・多様化、観光入込客数・市内消費額の増大が期待されます。					
【事後】課題					【事後】成果					
ふくつ観光協会や関係諸団体との連携や収益事業等による安定した運営資金の確保が必要であり、開拓していかなければなりません。さらには、観光地域づくり法人として、DMOの理念や意義を市民へ周知を図っていくことも必要です。					ふくつ観光協会や関係団体、多様な産業と連携しながら、地域総体産業の活性化に向けて、地元食材や事業者と共に食フェアを開催したり、市外からの誘客促進に向けたPR活動やより効果的な魅力を発信できるようメディア対応など、各種事業に取り組んでいます。特に、観光協会との役割分担の明確化や連携体制の構築を目指して、密に協議や連絡調整を実施しました。					
課題に対する改善・改革案										
本市の観光振興に向けて、観光協会と観光地域づくり法人（DMO）が役割分担の明確化や連携体制を構築していくことは継続して取り組む必要があり、互いに相乗効果を生み出すことができるよう、密に協議や連絡調整を実施していきます。										
事業費の内訳										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
負担金・補助及び交付金	観光地域づくり推進事業補助金			16,568,000						

世界遺産保存活用事業										
単位：円										
大事業	地方創生事業費				担当	教育委員会教育部文化財課世界遺産係				
一般会計			(款) 2 総務費		(項) 1 総務管理費			(目) 13 地方創生費		
基本 構想	テーマ別目標像		7. 観光振興：福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち							
	基本方針		1. 国内外の人が何度も訪れたい魅力を磨く							
	分野別計画等		第2次新原・奴山古墳群整備計画							
予算現額	決算額	財源内訳						翌年度 繰越額	不用額	
		国庫支出金	県支出金	繰入金	市債	その他	一般財源			
6,015,000	5,716,301	1,225,556					4,490,745		298,699	
事業の内容（具体的なやり方、手順等。複数年度事業は全体像を記入）										
世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を福岡県・宗像市・宗像大社と共同して一体的に保存・活用するために「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会」で遺産群全体としての保存管理・活用を図り、来訪者を増やすための事業を展開します。また、地元市民や企業・団体等と一緒に花いっぱい事業を行い、来訪者に魅力を発信します。										
事業の達成度を測る指標										
指標①	古墳群来訪者数		指標②	世界遺産に関する学習会の数			指標③			
目標値	20,000人		目標値	20回			目標値			
実績	29,965人		実績	11回			実績			
【事前】課題（事業実施前の課題）					【事前】成果（事業の実施により見込まれる成果）					
世界遺産がある市として、新原・奴山古墳群を中心とした来訪者対策の充実化やガイド施設、古墳群の保存管理を担う地域住民に対する周知事業が必要です。					新原・奴山古墳群にきた来訪者が市内他の史跡・観光地へ周遊すること。市民については「わがまちには世界遺産がある」と市民の一人ひとりが福津の歴史や景観に「愛着」と「誇り」を持ち、郷土の文化財を大切に、さらにそれを活かした魅力あるまちづくりを進めていく上での大きな効果が期待できます。					
【事後】課題					【事後】成果					
新原・奴山古墳群への集客及び地元と一緒に世界遺産を守り伝える活動のために実施している花いっぱい事業について、秋のコスモスは降雨量が少なかった事や雑草の繁茂により前年並みの開花が見られませんでした。					新原・奴山古墳群への来訪者数が目標を大きく上回りました。これはコロナ禍明けという事と花いっぱい事業によりリピーターが増加した事が要因と考えられます。					
課題に対する改善・改革案										
花いっぱい事業について限られた予算内で効果的成果が得られるべく関係者に指導助言を仰ぎながら除草剤や肥料の散布を行い景観の向上を図りたいと考えています。世界遺産に関する学習会については、令和5年度に保存活用協議会で小学生対象とした学習教材を作成しました。この教材を使った授業と文化財課の学芸員をゲストティーチャーとして活用することを各学校に提案することによって学習会の回数増を目指していきたいと考えています。										
事業費の内訳										
科目等	内容			金額	科目等	内容			金額	
旅費	普通旅費			47,760						
需用費	消耗品費			480,586						
需用費	印刷製本費			108,900						
委託料	世界遺産保存活用事業委託料			817,555						
負担金・補助及び交付金	世界遺産保存活用負担金			4,249,000						
負担金・補助及び交付金	世界文化遺産地域連携会議負担金			12,500						